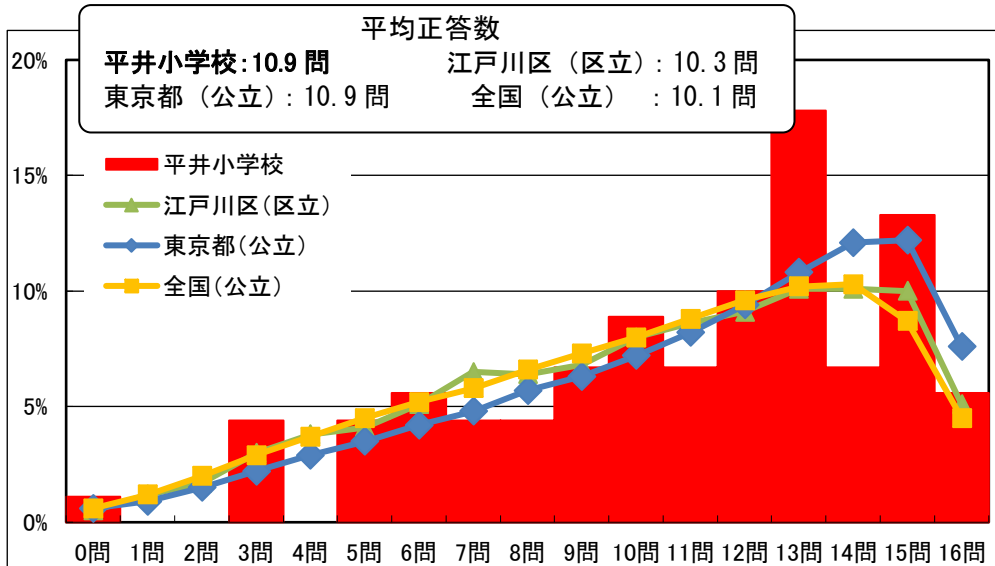


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 平井小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
平井小学校	25.6	27.8	26.7	19.9
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

平井小学校	68%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	0ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

- ・苦手な領域として、「B 図形」「C 変化と関係」における思考・判断・表現に関する力を評価する問題が、都の平均を下回る結果となっていることが分かった。特に「速さ」に関する問題について苦手意識をもっている児童が多く見受けられる。
- ・東京ベーシックドリルやミライシードを活用して復習に取り組みさせていく。特に「速さ、道のり、時間」に関する単元について、5年生で学習する内容なので、現5年生にも丁寧に指導することを心掛けたい。
- ・「図形」に関する単元については、球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉えられるように、実物模型を活用した指導を行っていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果

